

## 「自分の思いをはるかに超えて」

昨年のコイノニアでは、私が神様を信じ、信仰を告白したことと、生きることの意味について証を書きました。今回は、私がどのような導きで青山学院に入るようになったかを書きたいと思います。

私は小さな教会の牧師家庭に生まれ、学費の低い国公立を目指していました。しかし昨年の2月のまで、希望していた大学が2校ともだめでした。土壇場になって、教員免許が取れ、経済的にも通える大学を探したところ、青山学院の二部があることを神様から不思議な方法で知らされたのです。二部を志望するというのは、初めは少しも考えていないことでした。1校は決まっていたのですが、私としてはそこにどうしても行きたくありませんでした。青学の合格発表の前日、もう何もできないのに、もしか明日落ちて、行きたくないほうに決まってしまうらどうしよう、3月になっても、また他の学校を受験しなくてはいけないのか、と不安になって半泣きでした。今では、どこの学校でもちゃんとやる人もやらない人もいるし、自分次第だと思っていますが、その時はかなり切実でした。ですがその日の夜中、母から、神様に「私を憐れんでください」と言う祈りがあることを教えられました。ここで、私は神様に憐れみを求めることを知りました。母と、自分の思いはいろいろあるけど、神様が最終的に一番良い道を知っておられるのだからお任せしよう、もう思い煩わないで、神様がその道を選ばれたのだったら素直に従えばいいんだ、と話し、祈ることが出来ました。自分は本当に何もできない、神様に頼るしかないと気付かされた時に、私の心の重さがスツととれました。自分の思いではなく、神様の思いが大切なこと、自分の力で何かできると思わずに、最善を求めて精いっぱい努力したら、あとは神様にお任せすることを学びました。

結局、初めに希望していた大学よりも学費が安く、奨学金にも助けられ支えられて、通学にも便利な大学に通うことができています。キリスト教の精神を持つ学校で、ACF に出会えたことも今までにはない経験と喜びです。二部という選択も、私に合っていたと感じます。本当に、神様は人が考え付かないことをなしてくださるのだと感謝しています。

伝道者の書(コヘレトの言葉) 3:11

神のなさることは、すべて時になつて美しい。神はまた、人の心に永遠を与えられた。しかし人は、神が行なわれるみわざを、初めから終わりまで見きわめることができない。